

# 《リハビリテーション科 10 月勉強会》

## 10 月の勉強会

- 1 日 新人症例（急性期・理学療法）発表者：理学療法士 四野見愛海
- 6 日 部署別勉強会（事業所）発表者：理学療法士 佐藤大樹
- 22 日 部署別勉強会（急性期・理学療法・地域包括ケア病棟）発表者：理学療法士 高橋佑昌
- 28 日 部署別勉強会（回復期・理学療法／作業療法）発表者：理学療法士 安孫子 洋
- 29 日 部署別勉強会（急性期・作業療法）発表者：作業療法士 斎藤美沙希

## 《勉強会の様子》

### 1 日：新人症例（急性期・理学療法）【左視床出血について症例報告】

発表者：理学療法士 四野見愛海



初めての症例報告を行い、目標設定の部分でとても悩みました。今回は歩行に着目した発表となりましたが、今後はアドバイスを参考に日常生活動作全般を評価し、治療内容を考えていけるようにしたいです。

### 6 日：部署別勉強会(事業所)【バーチャルトレーニング機器『TANO』について】

発表者：理学療法士 佐藤大樹



サニーホームで使用しているバーチャルトレーニング機器『TANO』を紹介しました。基本的な構成要素と内蔵プログラムについて説明し、実際のリハビリでどのように使用したか、またその効果についても発表しました。社会がデジタル化していく中で、リハビリ機器もどんどん新しいものが開発されています。私たちセラピストも情報をアップデートしてよりよいサービスを提供できるようにしていきたいと思います。

22日：部署別勉強会(急性期・理学療法/地域包括ケア病棟)【ポジショニングについて】

発表者：理学療法士 高橋佑昌



ポジショニングについて発表しました。臥位・座位といった姿勢ごとの評価ポイントについて、また褥瘡が発生しやすい部位やサポートクッションの使い方について説明を行いました。今後も日々対象者の評価を行いながら、適切なポジショニングを実践できるように努めていきたいです。

28日：部署別勉強会(回復期・理学療法/作業療法)【骨粗鬆症について】

発表者：理学療法士 安孫子 洋



「脆弱性骨折による運動器障害とその予防について」と題して発表を行いました。第22回日本骨粗鬆症学会、合同シンポジウムの中から、骨粗鬆症や脆弱性骨折について、運動器障害・機能予後・転倒骨折の要因などの基本から、それらに対する対策・予防までを紹介しました。また、オステオサルコペニアについても紹介し、今後我々PT・OTが高齢化の中で向き合っていく重要な疾患のひとつだという認識をもち、明日からのリハビリテーションに生かして頂きたいと伝えました。

29日：部署別勉強会(急性期・作業療法)【高次脳機能障害について】

発表者：作業療法士 斎藤美沙希



半側空間無視に特化した内容で出張報告をさせていただきました。病態メカニズムを理解し、能動的注意だけでなく受動的注意の評価や治療が適切に行えるよう、経験を重ねていきたいと思いました。